

1. プログラム変更要望に対する検討状況一覧(平成22年4月～平成24年3月受付)

(3) 海上システム

受付時期	項番	業務カテゴリ	業務コード	変更要望内容	検討状況
H22.4～12	1	海上入出港業務	CRW03	ショアパスの発給日の記入欄が無いため、記入する欄を設けてほしい。	関係省庁で、引き続き検討中です。
H22.4～12	2	海上入出港業務	CRW03	VPT業務で乗員情報を入力後、CRW01業務で情報を呼び出し、CRW03業務をする際に、VPT業務にて備考欄に入力した「身分証明書有効期限」が反映されないため、VPT業務で乗員情報を入力する際に「身分証明書有効期限」欄を設けて、CRW03業務で反映させ、CRW03業務で入力する項目を極力減らす。 また、「行貼り付け」・「表貼り付け」だけでなく、「列貼り付け」もできるようにしてほしい。	関係省庁で、引き続き検討中です。
H22.4～12	3	海上入出港業務	CRW03	乗員上陸許可申請(CRW03)業務画面について、CRW01業務で呼び出しているのにも関わらず、船舶運航者コード・船舶運航者名・船舶代理店電話番号を入力しなければならないため、これらの項目を呼び出してほしい。	関係省庁で、引き続き検討中です。
H22.4～12	9	海上入出港業務	JPT VPT VPX	危険物荷役許可書、停泊場所指定願、係留施設使用届等について、申請者に対しても関係官庁に出力されているものと同様の申請内容が記載された許可情報を自動出力してほしい。	港長あての書類について、回答レイアウトの改良について検討中です。
H22.4～12	17	海上入出港業務	VPT	保証契約書番号が22桁で入力できなかった。保証契約書番号が21桁以上の船舶のシステム利用を担保してほしい。	関係省庁で、引き続き検討中です。
H22.4～12	19	海上入出港業務	VPT	VPT業務での入国管理局への申請について、乗組員情報の提出方法を「システム」と「マニュアル」から選択できるが、入国管理局は「マニュアル」処理でのシステム業務を受け付けないため、入国管理局で受け付けるようにするか、入国管理局に対する「マニュアル」の選択ができないようにしてほしい。	関係省庁で、引き続き検討中です。
H22.4～12	24	海上入出港業務	VPX	危険物荷役許可申請の回答通知について、乗組員への通知用として英文表記で出力してほしい。	許可条件等について、英文併記とすべく検討中です。

1. プログラム変更要望に対する検討状況一覧(平成22年4月～平成24年3月受付)

(3) 海上システム

受付時期	項番	業務カテゴリ	業務コード	変更要望内容	検討状況
H22.4～12	27	海上入出港業務	VPX VPT VIX VIT VOX VOT	入出港業務において申請後に訂正を行う場合、税関は訂正を認めているが、入国管理局は新規で申請を行う必要があるため、各官庁における訂正方法を統一してほしい。	関係省庁で、引き続き検討中です。
H22.4～12	63	海上輸出貨物関連業務	ACL01	バンニング情報の登録の際に入力している項目(バンニング個数、荷姿、重量、容積)についても同様に補完してほしい。	改善の必要性を含め、具体的な検討が必要なことから、引き続き検討いたします。
H22.4～12	90	海上輸出貨物関連業務	CYA	繰返部などを設けて複数のコンテナを同時に入力出来る様にしてほしい。	平成24年度にプログラム変更予定でしたが、当該業務を取り巻く状況に変化があったため、見直しを行っております。
H22.4～12	91	海上輸出貨物関連業務	ECR	船積確認事項登録(ACL)業務においては、船積指図書(S/I)情報登録(SIR)業務と同様に、共通部の繰返部に記号番号が展開されるのに対し、輸出貨物情報登録(ECR)業務においては、共通部ではなく、搬入予定先が複数ある場合に使用すべき繰返部に展開してしまうので、ACL業務と同様の仕様にしてほしい。	改善の必要性を含め、具体的な検討が必要なことから、引き続き検討いたします。
H22.4～12	99	海上輸出貨物関連業務	SIR	申告予定者と海貨業者が同一法人の場合は、船積指図書(S/I)情報登録(SIR)業務の申告予定者が、船積確認事項登録(ACL)業務の海貨業者コードに自動的にセットされる機能を追加してほしい。	改善の必要性を含め、具体的な検討が必要なことから、引き続き検討いたします。
H22.4～12	100	海上輸出貨物関連業務	SIR IVA	同一船積の船積指図書(S/I)情報登録(SIR)業務と、インボイス・パッキングリスト情報登録(IVA)業務を関連づける仕組みがほしい。	改善の必要性を含め、具体的な検討が必要なことから、引き続き検討いたします。
H22.4～12	112	海上輸入貨物関連業務	CMF02	トランシップでない揚コンテナの貨物情報は、船会社が税関に積荷目録提出を行った際に、ターミナル側にデータが送信されてくるが、トランシップ情報は一切送信されてこない。 マニフェストデータの追加・訂正情報を、ターミナル側が受信出来るようにしてほしい。	関係省庁で、引き続き検討中です。

1. プログラム変更要望に対する検討状況一覧(平成22年4月～平成24年3月受付)

(3) 海上システム

受付時期	項番	業務カテゴリ	業務コード	変更要望内容	検討状況
H22.4～12	113	海上輸入貨物関連業務	CYO	複数B/Lに係る貨物を内蔵したコンテナについて、うち1件のB/Lに係る貨物が検査扱いで輸入未許可、残りは輸入許可済み貨物である場合、当該コンテナのCYO(K:搬出)業務を実施した際には、エラーとならないようにしてほしい。	関係省庁で、引き続き検討中です。
H22.4～12	114	海上輸入貨物関連業務	DMF	マニフェスト情報の登録可能日を、10日から30日程度前にしてほしい。	関係省庁で、引き続き検討中です。
H23.1～7	43	海上輸出貨物関連業務	ACL01	バンニング情報登録前に仮登録したACL情報について、バンニング情報登録後に呼出しを行うと、「個数」、「荷姿」、「グロス重量」等のコンテナ情報が補完されないため、これらの情報を補完するようにしてほしい。	改善の必要性を含め、具体的な検討が必要なことから、引き続き検討いたします。
H23.1～7	44	海上輸出貨物関連業務	CYA CYO	CY搬入情報登録(CYA)業務、及びCY搬出確認登録(CYO)業務で一括して大量コンテナを処理できる業務を追加してほしい。	平成24年度にプログラム変更予定でしたが、当該業務を取り巻く状況に変化があったため、見直しを行っております。
H23.8～12	23	海上輸出貨物関連業務	IAL	船積情報照会(IAL)業務による照会結果に、通知先コード1、2が表示されないため、出力してほしい。	改善の必要性を含め、具体的な検討が必要なことから、引き続き検討いたします。
H23.8～12	27	海上輸出貨物関連業務	CYC	CY搬入情報訂正(CYC)業務における取消しを行う際、現行ではコンテナ1本ずつしか出来ないため、複数本数のコンテナについて、一度に出来るように仕様を変更してほしい。	平成24年度にプログラム変更予定でしたが、当該業務を取り巻く状況に変化があったため、見直しを行っております。
H23.8～12	29	海上輸入貨物関連業務	PID	到着確認登録(PID)業務入力時に、本船入港日欄を誤って登録する事例が多く、後続に与える影響が大きいため、次の仕様変更をしてほしい。 ①入港日欄に予めデフォルト値として「処理年月日」を表示してほしい。 ②代理店業務(VIX等)での着岸日時と相違ある場合、ワーニングメッセージを表示できるようにしてほしい。	①、②について、改善の必要性を含め、具体的な検討が必要なことから、引き続き検討いたします。

1. プログラム変更要望に対する検討状況一覧(平成22年4月～平成24年3月受付)

(3) 海上システム

受付時期	項番	業務カテゴリ	業務コード	変更要望内容	検討状況
H23.8～12	34	海上輸入貨物関連業務	OLC	保税運送申告(OLC)業務について、入力後に送信すると、直ちに税関申告となってしまうため、送信後に入力控を出力して、それを確認後に税関に送信される仕様にしてほしい。	関係省庁で、引き続き検討中です。
H24.1～3	6	海上輸出貨物関連業務	VAC	保税蔵置場での輸出許可後のバンニング情報登録について、コンテナ番号を誤って登録した場合、誤ったほうのコンテナが輸出許可前に既にCYに搬入(CYA)されていると、システム上「CYで申告した」と判断されることから、バンニング情報取消し(VAC)業務で取り消しすることができないため、取り消しが可能となるようにしてほしい。	改善の必要性を含め、具体的な検討が必要なことから、引き続き検討いたします。